

平成24年度 事業計画書

(平成24年11月1日～平成25年3月31日まで)

1. アーカイブ関連事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行なう。また、この活動に関わる諸テーマについて、財団独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関、個人との共同研究等も行なう。

国内外の優れたグラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する作品・資料を収集・保存し、その体系化やその適正・有効な活用をはかるための調査、研究を行うと共に、作品、資料、調査研究の成果を公開する。調査研究の成果については、アニュアルレポート等の刊行物や、Web サイト等で公表する。

田中一光ポスターアーカイブ、福田繁雄ポスターアーカイブ、永井一正ポスターアーカイブの寄託品の寄贈先を見直し、収蔵時期、作品点数等の意向を再確認する。所蔵するアーカイブをデジタルデータに変換・保存し、データベース化する作業は継続的に進める。デジタル画像として整理するシステムや作業内容を具体的に検討し、解像度の異なる作品掲載依頼などの要望にスムーズに対応する。特に、高解像度のデジタルデータ保存の手法や、ポスター制作・製造に関連するノウハウの記録などの具体的な調査を進める。

(1) 田中一光アーカイブ

平成20年秋に寄贈を受けた田中一光アーカイブは、ポスター作品に関するデータは、データベースに登録済み。平成24年度は、平成23年度に新たな保管場所から追加寄贈を受けた作品の整理とデータベースの精緻化を継続する。

(2) ポスターアーカイブ

デザイナー100名、作品10,000点の収集を目標とする。現時点では、国内72作家、海外48作家、計120作家を収蔵している。

平成24年度は、すでに寄贈いただいている横尾忠則氏、石岡瑛子氏他の収蔵作品のデータ整理を継続する。

作品の体系化のための調査を進め、利用・公開のためのデータベースを整備する。これによりWeb サイトでの公開や他美術館からの貸出し要請に対応する。

(3) タイラーグラフィックス・アーカイブ

アメリカの版画工房タイラーグラフィックスのコレクションを基盤とするアーカイブ。平成23年度も引き続き、CCGAに収蔵する同工房と著名作家とのコラボレーションを通じて制作された1,000点を越えるアメリカ現代版画のコレクションに関するテーマを設定し、その展覧会を開催する(CCGAにて公開)。また、他の美術館等への作品の貸し出しも行なう。

2. 展示関連事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行なう。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行ない、また、展示施設の管理運営を行なう。

グラフィックデザインならびにグラフィックアート作品に関する鑑賞・体験機会を一般に広く提供するため、独自の展覧会を企画する。展覧会は、東京都 ggg、大阪府 ddd、福島県 CCGA の3 展示施設で開催する。

平成24年度は、記載した予定表に従って展覧会を開催する。
ddd、CCGAに、世界ポスター トリエンナーレ トヤマ展を巡回する。
CCGAでは、従来の冬期休館中に、昨年の震災で開催会場が被災した田善顕彰版画展を開催し、今後も継続開催できるかの検討を行なう。

ggg(銀座)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 315 回 横尾忠則初のブックデザイン展	11/1(木)～11/27(火)
第 316 回 テセウス・チャン展 (シンガポール)	12/3(月)～12/25(火)
第 317 回 松永真ポスター展	1/9(水)～1/31(木)
第 318 回 カリ・ピッポ展	2/6(水)～2/28(木)
第 319 回 永井一正ポスター展	3/6(水)～3/30(土)

・ddd(大阪)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 189 回 世界ポスター トリエンナーレ トヤマ展(巡回展)	11/6(火)～12/21(金)
第 190 回 GRAPHIC WEST(5)	1/18(金)～3/2(土)

・CCGA(福島)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 61 回 タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.24	9/15(土)～12/24(月)
田善顕彰版画展	2/10(日)～2/16(土)
世界ポスター トリエンナーレ トヤマ展(巡回展)	3/1(金)～6/9(日)

ggg、ddd の入場料は、無料とする。CCGA の入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。但し、以下の方々は無料とする。

小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者 他

3. 教育・普及関連事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。

ggg Books は、2タイトル(テセウス・チャン、カリ・ピッポ)を発行し、ggg Books 別冊も、2タイトル(横尾忠則、松永真)を発行する。電子書籍版、オンデマンド・ブック版の企画も並行して進める。

また、田中一光アーカイブを活用して、同氏の作品と業績に関するグラフィックデザイン界、および美術・デザイン史における位置づけを、国際的な視野のなかで、広く調査・研究することに関して計画を進める。

ギャラリートークのネット配信は、昨年スタートしたユーストリーム中継を継続し、来場ができなかった不特定多数の方々が参加できるものとする。

4. 国際交流関連事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。

平成25年2月は、gggにてカリピッポ氏の展覧会を開催して、海外のグラフィックデザイン事情を紹介する。国内の他のグラフィック団体(東京タイプディレクターズクラブ(TDC)等)と連携し、企画展の巡回をサポートする。また、平成22年度にdddで開催した Graphic West 3 展のドイツ巡回後、さらに複数の巡回先を検討する。

また、世界27カ国のトップデザイナーによって構成される国際グラフィック連盟(Alliance Graphic International)の日本事務局のサポートを継続し、次年度の活動計画のサポートに着手する。

5. 研究助成関連事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成をおこなう。

CCGA(須賀川市)周辺で開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対して従来から行ってきた助成・協賛を継続する。

以上